

# 閉会中の委員会活動

## 義務教育現場の生の声を聴く

### 【総務社会委員会】

平成29年11月20日、学校・教育委員会と総務社会委員会との懇談会を開催しました。

三枝校長・教頭（南小校長のみ欠席）、村教育委員、教育長及び教育課長・係長を招き、今日の義務教育現場の諸課題と実情をお聞きしました。予め提示した懇談課題は次のとおりでした。

- ① 信州型コミュニケーションスクールについて
- ② 先生方の仕事量について
- ③ 通学路の安全確認について
- ④ 不登校・いじめの状況について
- ⑤ 発達障がい児の状況と取り組みについて
- ⑥ ICTパイロット校の取り組みについて
- ⑦ 小学校からの英語授業について
- ⑧ 中学校体育授業選択と学校登山について

限られた紙面にて懇談内容のすべてをお伝えすることは叶いませんので、②の先生方の仕事量（特に部活動を持つ中学校の現状）についてお伝えします。

中学校の部活動指導は、夏は18:30、冬は16:30頃まで。火・木・金は朝練習もある。土・日が取られることもある。



部活指導も先生にとっては大きな仕事  
バスケットボール郡体育大会

そのあと仕事を片付けなければならない。帰宅は20時、21時となってしまう。

教師には、教科指導、部活指導、係りの仕事と3つがあり、保護者対応に時間を取られることもしばしば。家庭での子育ての時間が持てないなど、ブラックと今日表現される厳しい現状をお聞きしました。

最後に学校側からの要望をお聞きしました。北小からは、壁から水が滲みだす北校舎の老朽化が強く訴えられ、中学校からは、学校施設仕様ではない体育館建て替えの要望がありました。

全般を通じ本村の児童・生徒のために奮闘される先生方のご苦労を実感するとともに、義務教育環境の整備が引き続きの課題として受け止めていただきました。

## 商工会と「リフォーム補助金の創設」他を協議

### 【産業経済委員会】

商工会役員と産業経済委員会との懇談会を11月8日に開催。マル経資金の利子補給の拡大など助成に関するものと、平成30年6月に施行予定の民泊に関するものが主なものでした。後継者不足などを背景とした、村内中小企業の厳しい経営状況改善のために、時間を延長して懇談しました。内容は以下のとおりです。

- ① 小規模事業経営改善資金（マル経資金）利子補給の助成金の拡大について
- ② 創業支援事業への助成金について
- ③ リフォーム補助金制度の創設について
- ④ スキー場の固定資産税（償却資産）の軽減
- ⑤ 安全な観光地（民泊）への対策
- ⑥ 高規格道路の建設促進について

この他にも色々なご意見を頂き、村政全般の要望を行政につなげることを約束しました。

#### 「民泊新法」

先進地 軽井沢町のようすを視察  
宿泊施設が広く雇用の場である当村が、「住宅宿泊事業法（民泊

新法）」にどう対応すべきかの参考にするために、先進地軽井沢町に伺いました。

担当者によると、「国際親善文化観光都市及び保健保養地として、伝統を重んじたまちづくりを進めている。許可された宿泊業の振興に努めるとともに、善良なる風俗の維持及び良好な自然環境の保全に尽くす。そのために民泊新法に反対し、新法成立に先駆けた平成29年4月1日に、民泊施設の設置は町内全域で認めない基準を設けたとのことでした。「白馬村さんも一緒に頑張りましょう」とエールを送られました。



毎年11月に行われる雪乞い祈願。今年は11月12日に行われた。雪乞いの甲斐あってか今シーズンの積雪は順調だ。沢山のお客様に白馬の雪を楽しんでもらいたい。雪乞い祈願・戸隠神社にて